

平成24年度 古仁屋高等学校 1学年 進路シラバス

1 進路目標

- (1) 古高生としての自覚を持ち、服装容儀・遅刻欠席・あいさつといった生活面をしっかりと「自律心」を身に付ける。
- (2) 部活動へ積極的に参加し、文武両道を目指す。
- (3) 基礎学力の徹底を図り、自ら学びに向かう習慣を確立する。(環境づくり、課題の提出など)
- (4) 二者面談や三者面談を活用して自分の進路について先生方に相談し、進路目標やコース選択を具体的に考える。

2 進路プロセス

月	進路行事・考査試験等	進路目標	進路実践	総合学習
4	新入生オリエンテーション 朝課外開始 課題考査 家庭訪問	[適応・生活指導] 高校生活に適応し、中学校から高校へ学習スタイルを転換、習慣化する。また、高校生として生活面(服装、授業態度等)をしっかりとする。	○中学生から高校生への転換。服装容儀・遅刻欠席・あいさつといった生活面をしっかりと。また、学習の記録や各教科の課題をしっかりと提出する。 ○学習オリエンテーション:授業の受け方、予習→授業→復習のサイクルが確立できるように高校の学習の仕方を学習する。 ○朝課外:高校生活のリズムを作り、遅刻がないようにする。基礎学力の定着・学力補充に努める。	オリエンテーション
5	進路希望調査 教育相談 中間考査	[自己理解] 将来の夢や希望を持つとともに、自分の興味・関心がどこにあり、どのような適性があるのか、またどのような人生を送りたいのかを考える。	○進路希望調査:現段階での進路希望を記入する。進路室やインターネット等を活用し将来の進路を調べる。 ○教育相談では学校生活について等、家庭訪問では相談できなかった様々なことを相談する。 ○中間考査:今後の学習がスムーズに進むようしっかりと学習に取り組む。進路実現に関わってくる評定平均につながる。	自己理解 (生徒理解調査等の実施)
6	生徒理解検査 宅習時間調査 英語検定		○生徒理解検査:自己の特徴を捉え、進路研究に役立てる。 ○宅習時間調査:宅習時間調査を活用する。日ごろの生活を見直し、宅習量を増やす努力をする。	テーマ学習1 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
7	進路ガイダンス 学力検討会 期末考査 夏季課外 ワープロ実務検定		○進路ガイダンス:上級学校より直接説明を聞き、進路意識の向上を図る。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 ○夏季課外:基礎学力の定着が目標。生活のリズムを保つようにする。夏季課題は早めに終わらせ、9月にある課題考査に備える。	テーマ学習2 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
8	漢字検定 夏季課外	課外授業や課題を通して、基礎学力を充実させる。	○夏季課外のない時期にオープンキャンパスに参加する。	
9	スタディサポート 課題考査	[職業研究] さまざまな進路があることを知り、理解を深める。自己の適正についても考え、進路選択の参考にする。	○2学期の始まりに際し生活のリズムを整える。また、夏休みの提出物をしっかりと期限内に出す。 ○スタディサポート:模試による実力把握、弱点克服に努める	テーマ学習3 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
10	進路希望調査 中間考査 英語検定	[コース選択] コースについての理解を深め、就きたい職業と高校卒業後の進路希望から、コース選択を考える。	○進路希望調査:進路研究のきっかけとし、より具体的に調べ、コース選択についてもよく考える。 ○中間考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	テーマ学習4 (①科学・環境 ②経済・文学 ③医療・福祉)
11	教育相談 宅習時間調査 期末考査 ワープロ実務検定		○第2回教育相談では、コース選択についても相談する。 ○宅習時間調査:宅習時間調査を活用する。日ごろの生活を見直し、宅習量を増やす努力をする。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	職業観の育成 (企業訪問の準備と実施)
12	学年PTS 大学出前講座 学力検討会 コース選択決定		○1学年PTSは主にコース選択について。生徒、保護者でよく話し合って自分の進路を考え、コースを決めるようにする。 ○大学出前講座:興味・関心のある系統の講座を受講し、進路について考える。 ○冬休みは生活のリズムを保ち、課題は早めに終わらせ、課題考査に備える。進路についても調べ、コース選択を決定する。	課題研究2(グループごとに課題を調べ、発表)
1	課題考査 進研模試・進路マップ 英語検定	[目標設定] 進路目標の方向を定め、大まかに進路計画を設定する。	○センター試験:大学・短大希望者は大学の入試制度について調べ、センター試験について知る。 ○模擬試験を通して目標と実力を認識し、弱点克服に努める。	課題研究2(グループごとに課題を調べ、発表)
2	進路ガイダンス 学年末考査 進路体験発表	[情報活用] 情報を活用する姿勢を身につける。	○学年末考査に向けてしっかりと学習に取り組む。評定平均につながる。 ○進路ガイダンス:上級学校より直接説明を聞き、進路意識の向上を図り、より具体的に進路について知る。 ○進路体験発表:3年生の大学、専門学校、就職に合格した先輩の体験談を聞き、進路実現に向けての参考とし意識を高める。	課題研究2(グループごとに課題を調べ、発表)
3	進路希望調査		○進路希望調査:進路研究のきっかけとし、より具体的に調べ、コース選択についてもよく考える。 ○2年次のコース選択に応じた準備をする。規則正しい生活を心がけ、学習時間をしっかりと確保する。苦手科目・分野の克服に努める。	人生設計を描く

平成24年度 古仁屋高等学校 2学年 進路シラバス

1 進路目標

- (1) 中堅学年としての自覚を持ち、文武両道で学校をリードできる集団を目指す。
- (2) 一人一人が自己の能力・適性を自覚するとともに、職場体験学習を通して働くことについて学ぶ。
- (3) 現実的な進路選択に向けて具体的に研究し、希望進路実現のために積極的に学習できる集団を目指す。
- (4) 様々な資格・検定試験に挑戦し、主体的に学ぶ力を身につける。

2 進路プロセス

月	進路行事・考査試験等	進路目標	進路実践	総合学習
4	コース制授業開始 朝課外開始 課題考査 家庭訪問	[自己理解] 自己の適性・関心を考え、自己理解を深める。	○1年次より学習内容が難しくなる。宅習時間を増やし、予習→授業→復習のサイクルを確立する。 ○コース制:進路目標に向け授業や課題等にしっかり取り組む。 ○朝課外スタート:基礎学力の定着・学力補充。遅刻・欠席がないように生活のリズムを整える。	オリエンテーション
5	職業適性検査 進路希望調査 教育相談 中間考査	[進路先の研究] 就職、専門学校、短大、大学のいずれを選択するかを絞り込み、希望分野について研究する。	○職業適性検査:適性・関心を知り、進路研究に役立てる。 ○進路希望調査:進路研究を深めるために、進路室やインターネット等を活用して学校・事業所について具体的に調べる。 ○教育相談を活用して、学校生活(学習・進路・部活動等)や家庭生活についてのこと等を積極的に相談する。 ○中間考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	職業観の育成 (就職の心構え・履歴書の記入)
6	宅習時間調査 英語検定 珠算・電卓実務検定	職場体験を通して自己の能力・適性を自覚し、職業観を養う。	○検定試験:合格を目指し意欲的に学習に取り組む。 ○宅習時間調査:宅習時間調査を活用する。日ごろの生活を見直し、宅習量を増やす努力をする。	職業観の育成 (実習先開拓・インターンシップの準備)
7	進研模試・進路マップ 進路ガイダンス 学力検討会 職場体験学習 期末考査 夏季課外 ワープロ実務検定		○進路ガイダンス:上級学校より直接説明を聞き、進路意識の向上を図る。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 ○夏季課外:基礎学力の定着が目標。生活のリズムを保つようにする。課題は早めに終わらせ、課題考査に備える。 ○夏季課外のない時期にオープンキャンパスに参加する。 ○インターンシップ:職場体験学習を通して働くことについて学び、自分の進路を考える。	職業観の育成 (インターンシップの準備・実施)
8	漢字検定 夏季課外			
9	課題考査 情報処理検定		○検定試験:合格を目指し意欲的に学習に取り組む。	修学旅行の調べ学習
10	進路希望調査 中間考査 英語検定	[希望進路の決定]	○中間考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。 ○進路希望調査:進路室やインターネット等を活用して、授業料やカリキュラム等、希望する学校、事業所について詳しく調べる。	文化祭準備 修学旅行の調べ学習
11	学年PTS 進研模試 教育相談 宅習時間調査 期末考査 珠算・電卓実務検定 ワープロ実務検定	就職ならば業種、進学ならば学部・学科を明確に決め、志望先を絞り込む。	○教育相談:担当の先生に進路について相談し、志望先の絞り込みを行う。 ○宅習時間調査:宅習時間調査を活用する。日ごろの生活を見直し、宅習量を増やす努力をする。 ○教育相談を活用して、学校生活(学習・進路・部活動等)や家庭生活についてのこと等を積極的に相談する。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○期末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	修学旅行の調べ学習
12	学力検討会 大学出前講座		○大学出前講座:興味・関心のある系統の講座を受講し、進路について考える。 ○生活のリズムを崩さない。生活のリズムを保ち、冬季課題は早めに終わらせ、課題考査に備える。	修学旅行の調べ学習・事後のまとめ
1	課題考査 簿記実務検定 情報処理検定 英語検定	[進路計画・目標] 進路希望実現のために進路計画を立て、目標を設定する。『3年0学期』という意識を持ち試験に対する準備を進める。	○検定試験:合格を目指し意欲的に学習に取り組む。 ○センター試験:進学コースの生徒は来年度に向けて本年度の問題を解き今後の学習に生かす。 ○国公立大のAO・推薦入試希望者は3年1学期を目標に、漢検・英検の2級取得を目指す。	進路の自覚 (進路研究)
2	進路ガイダンス 進研マーク模試 学年末考査 進路体験発表		○学年末考査に向けてしっかりと学習に取り組む。評定平均につながる。 ○進路ガイダンス:上級学校より直接説明を聞き、進路意識の向上を図り、より具体的に進路について知る。 ○進路体験発表:3年生の大学、専門学校、就職に合格した先輩の体験談を聞き、進路実現に向けての参考とし意識を高める。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○学年末考査に向けてしっかりと学習する。評定平均につながる。	進路の自覚 (進路研究)
3	進路希望調査 就職ガイダンス		○進路希望調査:上級学校・事業所について詳しく調べる。 ○就職ガイダンス:仕事についてのグループ学習や面接練習を通して就職活動や就労環境に関する知識を習得する。	進路の自覚 (進路について考えさせる)

平成24年度 古仁屋高等学校 3学年 進路シラバス

1 進路目標

- (1) 最高学年としての自覚を持ち、学習面・生活面で下級生の模範となるような集団を目指す。
- (2) 進路実現のため、朝課外・夏季課外などの課外授業や小論文・面接指導などを効果的に利用する。
- (3) 自分の能力や適正を的確に把握し、主体的に進路決定ができるように、進路に関する準備を早期に行う。
- (4) 二者面談・三者面談を効果的に活用して進路を決定し、十分な宅習時間を確保する。

2 進路プロセス

月	進路行事・考査試験等	進路目標	進路実践	総合学習
4	朝課外開始 課題考査 家庭訪問	[目標設定] 進路目標を設定し 目標達成のために志望校・就職先のことについての研究を始める。進路実現のために基礎学力を養成する。	○家庭訪問:志望校や志望業種、受験日程や学費、年間の流れなど担任・生徒・保護者で具体的な話をする。 ○朝課外スタート:進路実現に向けて基礎学力の定着が重要である。遅刻・欠席がないように朝課外に目標を持ってしっかりと取り組む。	進路を考える (志望校・就職先についての研究)
5	進路希望調査 教育相談 中間考査		○部活動生は高校総体に向けて完全燃焼する。また、これまでの進路研究の結果や自分の学力、適性等を踏まえて、志望校や志望業種を絞る。 ○進路希望調査:志望校・志望業種について具体的に研究する。 ○教育相談:志望校・志望業種について担任に相談する。進路実現に向けて努力目標を設定し、必要事項の確認をする。	進路を考える (願書・履歴書の作成方法)
6	学年PTS マーク模試・進路マップ 放課後学習開始 面接・小論文指導開始 宅習時間調査 英語検定 珠算・電卓実務検定	[志望校・受験校・受験企業の決定] これまでの進路研究の結果と自分の学力を踏まえて、受験校・受験企業を決定する。	○部活動を引退する生徒が増える時期につき、本格的に進路実現に向けて気持ちを切り替える。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○宅習時間調査:宅習時間調査を活用する。日ごろの生活を見直し、宅習量を増やす努力をする。 ○学年PTS:進路決定までの流れを確認する。間もなく求人受付が始まる時期であり、就職希望者は特に気を引き締める。国立大のAO・推薦試験を希望する者は準備に取りかかる。 ○進路ガイダンス:就職希望者は進路ガイダンスを通して就職試験に向けた実践的な練習を行う。また、進学希望の生徒は、進路希望に近い学校・学部等の説明を聞き、学習へのモチベーションを高める。 ○放課後学習の開始:進学コースを中心とした生徒が参加し、進路実現に向けて放課後に集中的な自学自習を行なう。	進路を考える (志望理由書の作成)
7	進研記述模試 小論文模試 進路ガイダンス 進路学力検討会 三者面談 求人受付開始 期末考査 夏季課外 ワープロ実務検定 島内職場見学		○求人受付開始:就職希望者は担任・保護者と話し合いを重ねて受験する企業を決定する。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○夏季課外:教科の授業のほかに、進路実現のため進路学習(面接練習、一般常識問題演習、履歴書・志望理由書の準備等)もある。遅刻・欠席がないように注意する。 ○島内企業見学:就職希望者が島内の企業等を訪問し就職に対する意識を高める。 ○三者面談:進学・就職希望先の最終決定を行う。また、受験科目・日程、今後の課題等の確認を行う。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。	進路を考える (志望理由書の作成・面接の練習)
8	推薦委員会 漢字検定 夏季課外	推薦試験希望者は面接・小論文等の練習に力を入れる。	○センター試験に向けた基礎学力の充実をはかる。国立大学の推薦入試希望者は小論文・面接対策を進める。また、就職、専門学校推薦入試希望者は出願、面接、小論文等の準備を行う。 ○夏季課外がないときに、オープンキャンパスや企業見学に参加する。 ○面接指導の開始:日ごろの言葉遣いや挨拶に注意し、面接ノートを作成して練習を重ねる。 ○推薦委員会:第1回は就職希望者中心。第2回は専門学校希望者中心。面接や志望理由書等の提出が必要。学校への提出書類は期限を厳守する。	
9	課題考査 就職試験 推薦委員会 9月マーク模試 情報処理検定	[就職試験] 雇用状況が厳しく求人もし少ない。一社目で内定を勝ち取る。	○9月1日に就職関係応募書類発送。9月16日就職試験開始。面接練習・筆記対策等に全力を注ぐ。 ○推薦委員会:大学・短期大学希望者中心。面接や志望理由書等の提出が必要。学校への提出書類は期限を厳守する。 ○就職希望者で内定した者は、お礼状を作成・送付する。	進路を考える (面接・小論文の練習、就職希望者はお礼状の作成)
10	専門学校入試 センター試験出願 進研記述模試 推薦委員会 中間考査 英語検定	[推薦入試] 受験対策に努める。特に面接や小論文等の練習は早期に、継続的に担当の先生と取り組む。	○模擬試験を通して自分の弱点を知り、その克服に努める。 ○専門学校推薦入試の出願:出願書類に不備がないか確認する。面接・作文・小論文・学科試験等の対策に全力を注ぐ。 ○センター試験出願:出願書類に不備がないか注意する。 ○専門学校推薦入試の開始	進路を考える (面接・小論文の練習、就職希望者はお礼状の作成)

11	進研マーク模試 大学・短大推薦入試 大学出前講座 教育相談 宅習時間調査 期末考査 珠算・電卓実務検定 ワープロ実務検定	[継続] 希望進路実現のために粘り強く取り組み、合格できる学力を身に付ける。	○専門学校合格発表:提出書類,納入金等を確認し期限を厳守する。課題等の提出がある場合は,しっかりと取り組む。 ○模擬試験を通して自分の弱点を知り,その克服に努める。 ○進路内定者は学級やコースの雰囲気づくりに気を配る。検定や期末考査が集中する時期でもあり,目標を切り替えて学習に励む。センター試験受験者は,授業・課外授業等を利用してマークテスト対策を行う。 ○大学推薦入試の開始	進路を考える (面接・小論文の練習,社会人としての心構えの養成)
12	学年PTS 進路学力検討会 大学等出前講座 冬季課外(一般試験受験者)		○センター試験に向けての追い込み。過去問等で問題演習を重ねる。また,生活のリズム(寝る時間・起きる時間)を一定にして,体調管理に気を配る。 ○学年PTS:進路決定者・未決定者ともに,進路決定後の生活等について考える。 ○大学等出前講座:下級生とともに上級学校の講義を受け,学習・学問への意欲を深める。 ○冬季課外:センター試験バック模試等を活用し,センター試験に向けての最終調整を行う。	進路を考える (面接・小論文の練習,社会人としての心構えの養成)
1	冬季課外(一般試験受験者) センター試験 三者面談 卒業考査 簿記実務検定 情報処理検定 英語検定 私立大一般試験出願	[進路未決定者] 大学希望者はセンター試験,2次試験等に向けて全力を尽くす。専門学校希望者は試験日程等を確認し,学習も含め準備をする。就職希望者は積極的に受験機会を生かす。	○進路未決定者は焦りが出てくる時期だが,あきらめず最後まで努力する。 ○冬季課外:センター試験バック模試等を活用し,センター試験に向けての最終調整を行う。 ○センター試験:体調管理をしっかりと,全力を出し切る。 ○朝課外終了 ○出願決定のための三者面談:センター試験の自己採点を参考に,大学について詳細に調べ,担任や保護者と相談して出願校を決定し出願する。 ○卒業考査:最後の定期考査である。しっかりと復習して試験に臨む。	高校生活のまとめ(上級学校や職場への適応を高める)
2	私立大一般試験出願 国公立大2次試験出願 私立大一般入試 国公立大前期試験 進路体験発表		○自宅学習期間を有意義なものにする。進学先での学習に向けて学習習慣を身に付ける。入学手続き等も確実に進行。就職内定者は企業からの赴任通知を確認する。 ○進路未決定者は個別指導を受け最後まで粘り強く努力する。 ○新生活に向けての準備を怠らない。就職内定者で運転免許の取得が義務付けられている生徒は,赴任日までに確実に取得する。 ○進路体験発表:1・2年生に向けて合格体験談を話す。 ○私立大学一般試験 ○私立大学一般試験合格発表 ○国公立大学前期試験	
3	国公立大後期試験 卒業式		○進路未決定者は個別指導を受け最後まで粘り強く努力する。 ○新生活に向けての準備を怠らない。就職内定者で運転免許の取得が義務付けられている生徒は,赴任日までに確実に取得する。 ○国公立大学前期試験合格発表 ○国公立大学後期試験 ○国公立大学後期試験合格発表	